



Weekly 第67号

個室ユニット推進協ニュース

【発行】一般社団法人全国個室ユニット型施設推進協議会

〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町171-1 TEL: 045-921-0462 / FAX: 045-921-0472

直近の介護関連ニュース（ダイジェスト版）をお届けします。今週号は2018（平成30）年7月23日（月）～7月29日（日）まで1週間のニュースです。前週号で掲載できなかったニュースを補足しました。詳細は厚生労働省のHP等で確認してください。赤字は重要ニュースです。

■男女とも平均寿命 過去最高 女性は世界2位（7月20日）

厚労省の「平成29年簡易生命表」によると、平均寿命は女性87.26年、男性81.09年でも過去最高。主要国比較では女性が香港に次いで2位、男性は香港、スイスに次いで3位。主要死因は男女とも1位が悪性新生物、2位が心疾患、3位は女性が脳血管疾患、男性は肺炎だった。

■西日本豪雨を「激甚災害」に指定 閣議決定（7月24日）

政府は閣議で西日本豪雨による被害を「激甚災害」に指定した。国庫補助率を引き上げる（最大9割）。

■老健局長に大島一博氏 7月31日付 厚労省人事（7月24日）

厚労省は7月31日付発令の厚労省幹部人事を発表した。事務次官に鈴木俊彦氏（現、保険局長）、老健局長に大島一博氏（内閣府官房審議官）、社会・援護局長に谷内繁氏（厚労省審議官）。

■出入国管理法改正案、臨時国会に提出 閣議決定（7月24日）

政府は外国人の就労受入れを促進するため今秋の臨時国会に出入国管理法改正案などを提出することを閣議決定した。外国人技能実習制度の拡大（介護、建設などが対象）に伴い、新たな在留資格の創設（来年4月）など総合的な受入れ体制を整備する。また業務の増加に備えて「入国管理庁」（仮称）を設置する。

■次の介護保険制度改正に向け、介護保険部会が論議を開始（7月26日）

第74回介護保険部会が約8カ月ぶりに開かれ、次の介護保険制度の在り方などをめぐり審議を開始した。また厚労省は西日本豪雨の被害状況を部会に報告した＝1面参照。

■特養の1割余が「人材不足で利用制限」と回答 WAM調査（7月27日）

福祉医療機構（WAM）のインターネット特養調査（今年1月1日時点）によると、64.3%が「人材不足」と回答。そのうち12.4%が「（特養や併設デイサービスなどで）利用者の受け入れを制限している」と答えた。